

報道関係者各位

株式会社 エスキュービズム・テクノロジー

オムニチャネル時代のマーケティング戦略を実現する
オムニチャネル対応 マーケティングオートメーションツール
DECIDE omniをリリース

-オムニ時代のシステム構築に最適なマーケティングを実現-

EC/小売業向け開発・ソリューション提供の株式会社エスキュービズム・テクノロジー（本社：東京都港区、代表取締役社長 武下真典、<http://tech.s-cubism.jp/> 以下 Sテック）と株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長 石井 直、<http://www.dentsu.co.jp/> 以下 電通）は、共同でEC向けマーケティングオートメーションプラットフォーム/ECパッケージであるDECIDEを開発・販売しています。今回、本システムの機能拡張を実施し、新たにECサイトだけではなく、Sテックの提供するオウンドメディア構築CMSとの連携機能の実現、TabletPOSとして2年連続でモバイルPOS市場金額シェアNo. 1の実績(*1)を持つ、EC-Orange POSとのデータ連携、会員証アプリとして小売店様に導入頂いているOrange Clubアプリとの連携を実現し、EC、オウンドメディア、そして実店舗でのお客様行動情報に基づくマーケティングエンジンとして利用可能な新パッケージ『DECIDE Omni』のご提供を本日より開始いたします。



■パッケージの概要

DECIDEは、ECとマーケティングを包括し、行動ベースでマーケティングアプローチを自動的に実施する統合パッケージです。

今回、DECIDEに対し、オウンドメディアや店舗店頭で取得される様々なデータを連携させることで、お客様のECやWebサイトなどの行動の可視化が実施しやすいデジタルなデータだけではなく、店舗の訪問履歴や店頭での購買履歴に基づくマーケティングアプローチを実施する各種の機能を実装いたしました。

■新機能追加の背景

現在、クリック&モルタル、ブリック&モルタル、ショールーミング、Webルーミングなどのキーワードが溢れ、数多くのオムニ施策、オムニチャネル施策に基づくアプローチが隆盛を誇っています。

これらの市場環境の中、自社パッケージのみでオムニチャネル施策提供を行っているSテックでは、店舗店頭のPOSレジ、スマートフォン、ECおよびオウンドメディアの全てのデバイス、場所、コンタクトポイントを通じて情報収集を実施し、それらの収集情報に基づいてマーケティングアプローチを実施することでLTVおよびお客様満足度の向上に結びつくと分析しております。しかしながら、在来の数多くのシステムではこれらのデバイス、コンタクトポイントの違いを超えて情報の収集を行うことは可能であったとしても、例えばキャンペーンや各種のユーザに対するマーケティング施策として実行することは難しく、さらにはその実施結果までを一元管理する事は難しい状況となっていました。また、これらの機能を実施・実装するシステムはまだリリースされておらず、非常に有望な市場に対しアプローチをすることが出来ると考えております。

この様な背景により、Sテックが開発し提供を行っている各種のシステムと、電通と共同開発し提供を行っているDECIDEとをより密接に連携させ、オムニチャネル時代のマーケティングアプローチを加速する、様々な機能を実装いたしました。

■オムニチャネル マーケティングのポイント

ポイント1. 相互送客能力の強化

TabletPOSレジの購買情報のDECIDEへの連携、会員データの共通利用機能、またDECIDEよりスマートフォン用アプリに対してプッシュ通知を実施するモジュールの追加により、ECから店舗へ、店舗からECへ、単なるクーポンやポイントの連携だけではなく、ECサイトでお気に入り登録した商品の在庫情報を、お客様のGPS座標に基づいて「店舗に近づいた際にプッシュ通知にてお知らせする」ことや、店舗で手に取ったが買わなかった商品をECで割引販売する、等のより有機的な相互送客を実現する事が可能となります。これにより、見せかけの相互送客ではなく、機会損失の低減、お客様にあらゆるチャネルでの接触機会を維持するという施策・メリット提供が可能となります。

ポイント2. ECおよび店舗のファンの増加

DECIDEの最大の特徴は、継続的にお客様にキャンペーンやステップメールなどの施策実行を行い、お客様との関係を強化し、ファンの育成を図ることにあります。在来ECやオウンドメディアはそれ単体で閉じた世界であり、その閉じた世界のみでの顧客育成となっていたため、ECの優良顧客が店舗の優良顧客であるのかどうか、また店舗でもECと同じような購買行動を取っているのかどうか不明な状況でした。今回DECIDE omniでは、店頭での購買顧客、店頭のみでの購買顧客などの情報を連携し、ECやオウンドメディアで実行されているのと同様の、購買提案や顧客育成に向けたステップシナリオなどの顧客育成施策を店頭でも実行し、ファンを増加させることが可能となります。

ポイント3. キャンペーンをより容易に実現可能

在来、ECを含めたキャンペーンを展開する際には、設定が非常に複雑であり、キャンペーンのシステムの機能とマーケティングシステム自体が連動せず、実施と評価が別システムになることもままありました。

PRESS RELEASE

しかし、DECIDE Omniでは、キャンペーン登録システムとキャンペーンキッカーとしての機能を用意、また集計、KPI指標に基づく施策の評価までを実施しているため、店舗、EC、オウンドメディアの区別をせず、実施したキャンペーンの施策実施評価を行う事が可能です。

これにより、在来よりもキャンペーン施策などの実施実行がより簡単に登録、実行、評価を行うことが可能となった一方、オムニチャネル時代のキャンペーンに発生していくと考えられる「データの分散」や「評価軸の散乱」といった問題を廃し、適切に施策評価を実施できるようになります。

※1 富士キメラ総研「月間BT(2014年6月号) 2013年実績」
「2015法人向けスマートデバイス関連ビジネスの全貌 2014年実績」

■会社概要

社名 : 株式会社 エスキュービズム・テクノロジー (<http://tech.s-cubism.jp/>)
代表者 : 代表取締役社長 武下真典
所在地 : 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A館 4階
設立 : 2014年4月1日 (同日付で株式会社エスキュービズムからソリューション事業を承継)
資本金 : 50,000,000円
事業内容 : 1. オムニチャネルソリューション/020ソリューション/EC構築ソリューション事業
2. タブレットソリューション事業
3. IoTソリューション

* 記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。

* 製品の仕様は変更される可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 エスキュービズム・テクノロジー

電話 (03) 6430-6732 メール support@ec-orange.jp